

| | | | | |
|-----------|------------------|------|----|----|
| 講義名 | 経営学入門【商・経：2年生以上】 | | | |
| 担当教員 | 柿沼 英樹 | | | |
| 開講期・曜日・時限 | 後期 金曜日 4時限 | 授業形態 | 講義 | |
| 履修開始年次 | 1年生 | 単位数 | 2 | 備考 |

| |
|--|
| 主題と概要 経営学の初学者を念頭に置いて、企業や経営についての基礎的知識や理論を解説する。具体的には、組織論、戦略論、マーケティング、会計などの、「経営学」を構成する領域を取り上げ、教科書レベルの基本的な解説を行う。また、必要に応じて、若干の発展的内容や事例の紹介を加えていく。経営学の主要なことからを体系立てて学ぶことで、自分なりの経営学の見取り図を持つこと、さらには専門的な学びへの意欲を高めることを目指す。 |
|--|

| |
|---|
| 到達目標 (1) 経営学の基礎的知識を身につけることができるようになる。 (2) 企業経営に関するさまざまな現象を、学んだ知識を使って説明できるようになる。 (3) 経営学のさまざまな領域のなかから、より深く学びたい分野を見つめられるようになる。 |
|---|

| |
|---|
| 提出課題 ・毎回の授業において、その日の内容に関する小テストを実施する。 ・授業の内容と関連つけた論述を求めるレポート課題を、2～3回程度提示する。 |
|---|

| |
|--|
| 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック ・授業回ごとの小テストについては、授業内で解答の提示と補足解説を行う。 ・レポート課題については、締切後の授業にて全体向けにフィードバックを行う。 |
|--|

| |
|---|
| 評価の基準 ・授業回ごとの小テスト20%、レポート課題20%、定期試験60%（詳細については講義内で指示する） |
|---|

| |
|---|
| 履修にあたっての注意・助言他 他を受講生の迷惑となる行為（私語、飲食、講義途中の無断での入退出、ゲーム・動画の視聴など）は厳禁とし、違反者は厳重に対応する。場合によっては退学を命じることもある。 |
|---|

| | | | |
|--|-----|------|---------------|
| 教科書 ・1からの経営学（第3版）・加護野忠男・吉村典久 | 碩学舎 | 2640 | 9784502375217 |
|--|-----|------|---------------|

| |
|---|
| プリント資料及び参考文献 <講義資料> 授業回ごとに MYUKA Portal にアップロードするので、各自で確認すること。 <主な参考文献> ・上林憲雄・奥村康司・團泰雄・開本浩矢・森田雅也・竹林明（2018）『経験から学ぶ経営学入門 第2版』有斐閣。 ・北原明・松本雄一・鈴木竜太・上野山達哉・風田晋通（2020）『経営学ファーストステップ』八千代出版。 |
|---|

| |
|---|
| 授業計画 第1回 経営学入門で学ぶこと；講義の全体像や進め方、評価方法など 第2回 企業経営の全体像；市場、経営資源、組織 第3回 経営学の全体像；経営学、商学、会計学、経済学との関係性、経営学の特徴 第4回 株式会社の仕組み；会社と株主、会社の諸機関、資金調達 第5回 日本の雇用制度；「三種の神器」論、六つの労働市場、雇用慣行の変化 第6回 競争戦略のマネジメント（1）；企業戦略と競争戦略の基本的な考え方 第7回 競争戦略のマネジメント（2）；違いをつくる3つの基本戦略 第8回 多角化戦略のマネジメント；多角化、M&A、戦略的提携 第9回 マーケティング；マーケティング・コンセプト、STPと4Ps、ブランド 第10回 国際化のマネジメント；国際化の動機、国境を越えることで生じる課題 第11回 ミクロ組織のマネジメント；組織構造、職務設計 第12回 ミクロ組織のマネジメント；インセンティブ・システム、リーダーシップ 第13回 キャリアデザイン；デザインとドリフト、キャリア・アンカー、計画された偶発性 第14回 経営学の広がり；ファミリービジネス、非営利組織、サービス経営 第15回 まとめと補足解説；経営学の見取り図をつくる 定期試験 ・原則として、教科書の同じ章タイトルの部分に準拠して進める。例外的に、第1回は教科書の第1章の一部、第4回は教科書の第3章と第4章の一部、第5回は教科書の第4章の一部を取り扱う。教科書の第5章は、第6回の授業のなかで触れる。第9回は、教科書に相当する資料（PDF）を別途用意するので、それらを参照すること。 ・第15回は全体のまとめであり、教科書の特定の章に沿って進めるわけではない。 ・基本的に、毎回の授業に教科書の内容に沿って進ずる。一部、内容を省略したり、別の内容を追加したりするが、それらについては別途案内する。 |
|---|

| | |
|--------------------------------------|--|
| 授業形態（アクティブ・ラーニング） | |
| ア：PBL（課題解決型学習） | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| ウ：ディスカッション、ディベート | エ：グループワーク |
| オ：プレゼンテーション | カ：実習、フィールドワーク |
| キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） | |

| |
|--|
| 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間 <予習> 教科書および講義資料を通読し、その授業回の主なトピック、キーワードを確認しておくこと。30分程度。 <復習> 講義資料には概略のみを記載しているので、教科書や参考文献を参照しながら詳細を補充すること。 また、各種メディアでの企業経営に関する報道に触れ、講義で学んだことが実際の企業経営や自身の職業生活にどのように役立つのかを考えること。合わせて90分程度。 これらのほか、レポート課題に関連する取り組みに、合わせて30時間程度を要する。 |
|--|

| |
|---|
| 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 <商学部> 「企業マネジメントに関する問題探索・課題提案をするための幅広い知識」を身につける科目である。 <経済学部> 「現代社会の諸問題について、経営学的な視点から考察し、課題を提案することができる基礎知識」を身につける科目である。 |
|---|

| |
|---|
| 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述 ・小テスト課題・レポート課題は、responなどのオンラインツールを使用する。 ・授業内での発言（またはオンラインツールへの書き込み）を求められることがある。積極的な授業参加を期待する。 |
|---|

| |
|--------------------|
| 実務経験の有無及び活用 |
|--------------------|

| |
|---|
| 備考 ・今年度の教科書は、前年度まで使用していた教科書『1からの経営学（第2版）』を改訂した「第3版」である。新規購入の際は、「第3版」を購入すること。ただし、授業は教科書の差を問わず対応できるよう構成するので、すでに「第2版」を所有している受講者は新たに購入しなくても差し支えない。 ・新型コロナウイルス感染症の感染者または濃厚接触者に指定された場合は、通学禁止期間の授業をオンデマンド形式で受講し、課題提出できるようにする。その方法は、当該受講者に対してその都度案内する。 ・新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバスの修正が行われる可能性がある。修正する場合には、後期開始までに別途案内する。 |
|---|